

## 事例 2

# 漁港施設用地の有効活用(静岡県仁科漁港)

- 仁科漁港においては、平成24年に漁協の水産物直売所内に「沖あがり食堂」を設置。スルメイカの刺身と漬けを乗せた「イカ様丼」が第5回 Fish-1 グランプリを受賞するなど、その評判は全国規模に。
- 西伊豆町は、仁科漁港の用地に農山漁村振興交付金を活用して「西伊豆町産地直売所(仮称)」を整備(令和2年2月竣工予定)。あわせて、漁協直売所の食堂を拡張予定(令和2年度)。
- 仁科漁港をにぎわい創出の場として有効活用するこれらの取組により、地域の更なる活性化を図ることとしている。



### 【財産処分手続き等】

- 対象財産：漁具保管修理施設用地(1,560㎡)  
荷さばき所用地(1,270㎡)  
注)補助目的に従った利用により10年を経過した長期利用財産
- 処分区分：目的外使用(補助金返還なし)
- 農林水産大臣への報告をもって承認
- 漁協への用地占用許可の期間延長も予定

### 【西伊豆町産地直売所(仮称)の概要】

- 木造平屋建て
- 床面積：292.35㎡
- 総工費：197,451千円  
(うち国費52,907千円)

### 期待される効果

「漁協直売所・沖あがり食堂」の利用客数  
**38,180人/年** (H30実績)

「西伊豆町産地直売所(仮称)」と  
「漁協直売所・沖あがり食堂」とをあわせて  
**12万人/年** (見込み)



沖あがり食堂の様子



イカ様丼  
【第5回 Fish-1 グランプリ】



伊豆漁協仁科直売所・食堂(既設)